



みんなで子育て No.4

7月・夏休み中も家庭教育学級が盛んに行われています。

岐南町立 西小学校

サーカスエコロジカル (講演会型)

開催日:6月29日(土)

講師:

Teamパフォーマンスラボ



実験で自転車をこいで発電し扇風機を回す。子どもが一生懸命こぐがかなりの力がある。電気もロスなく使うには、-198℃の液体窒素で、超電導を利用するといった話から、液体窒素により花を凍らせたり、風船の中に入れて冷やすとしぼんでしまうが、外に出すと戻る様子も紹介された。実験には子どもが参加し、博士と助手の楽しいパフォーマンスで興味も増していた。

<感想等>

参加した保護者からは、「楽しく、分かり易い説明があったので子どもたちもよくわかったように感じました。」「子どもが楽しそうなのがイイです」といった言葉があり、終わって退場する子ども達を見送る博士と助手に楽しそうに話しかける児童の姿から、楽しく学べた満足感があるようでした。

◇土曜日の授業参観、懇談会、講演会、引き渡し訓練という充実した内容

- ・ピエロ姿の助手がパントマイムを行い、見えないボールのキャッチボールで会場を盛り上げて、その後博士と助手の楽しい会話になる。
- ・二酸化炭素が地球温暖化の原因として挙げられ、石灰水での確認や実験により酸素が燃焼を助け、二酸化炭素の発生の説明をされた。
- ・手を叩くと音が出る、手をこすると熱くなる、と言うようにエネルギーの形を変えることができる。物を燃やすのではなく、クリーンなエネルギーを考える。



コメント

サイエンスショーは、実験で興味を高めること多くあります。今回は地球温暖化に対して考えようというストーリーがあり、メッセージ性があります。

分かりにくい内容をパントマイムや面白いおしゃべりでお笑いの要素を入れ、蒸し暑く200人以上の保護者や乳幼児がいる中でも、楽しく学ぶことができていました。積極的に実験に参加する姿が雰囲気をよくしていました。



山県市立美山小学校

インターネットの安全安心な使い方 (講演会型)

～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために～情報ネット(Eネットキャラバン)

開催日:7月5日(金)

eネットキャラバン講師

ドコモショップ

浜松志都呂店 柳生佳彦 氏

高富店 藤田歩希 氏

株式会社ティーガイヤ

伊藤裕之 氏



●講演内容

スマホ 地図ナビ・インターネットの内容すべてが正しいとは限らない。スマホで「○○」という言葉を検索するとひどい映像が出たり、閲覧注意の表示が出たりする。子どもが興味を持つことは必然であり、遠ざけるのは保護者の責任である。「グレゴリー・スマホ18の約束」は、保護者の役割を明確にしていることを紹介された。



害として挙げられるのは①ネット依存、②ネットいじめ、③誘い出し、成りすまし、④個人情報漏えい、⑤ネット詐欺、ワンクリック詐欺、⑥チェーンメール、⑦著作権、等であり、その危険性が身近にある。最後にフィルタリング等について、契約時に確認が大事である。

<感想等>

- ・子どもときちんと話し合わないといけない。フィルタリングしているかが心配。
- ・スマホは子どもにも必要だと思うが、フィルタリングのことを知らないといけない。
- ・持つ時の約束をきちんと話し合って決めないといけない。6年生は夜あずかることが必要。

講演会場では、学校歯科医おすすめの歯ブラシの販売がされていました。「美山小学校の歯は岐阜県一！」



コメント

親の責務として、もっとスマホのことを知り、その使い方を教える立場になる必要があること。子どもと約束を話し合って決める事等、大事な点が明確にされていました。

使用済みのスマホ、ゲーム機、音楽プレイヤー等もWi-Fiが利用できます。フィルタリングの方法等、販売店でできることや相談に乗れることを示している点が強みですね。

山県市立桜尾小学校 給食試食会・口腔衛生・食育講話 (講演会型+体験型)

開催日: 7月11日(木) ●学校歯科医 旭 律雄 先生の講話



歯磨きの時間は、「ごしごしデンターマン」の曲に合わせて、歯の位置ごとの磨き方で丁寧に3分以上かけて行い、最後に保護者が、1年生のわが子の歯磨きの仕上げを行いました。旭先生からは、上の前歯の歯間が磨きにくいことと、歯と歯茎にブラッシングできるようにと、話されました。隙間が磨けないので、歯間ブラシを使うように話され、歯間ブラシを渡されました。



コメント

山県市の小中学校の児童生徒が県で一番虫歯の数が少ないのは、10年ほど前に学校歯科医が行政への働きかけで始めた「フッ化物洗口」の取組のおかげです。

保護者を対象にした給食試食会の後に、歯磨き指導・食育講話を合わせて行われるのも大きな効果ですね。

旭先生が、歯磨きの様子を見て、「よく磨きが出来ているよ」と話され、その後短い講演を行いました。フッ化物洗口により、むし歯は防げているが、歯と歯茎の間がそのまま、歯周病や歯肉炎の恐れがある為、歯間ブラシによる隙間の磨き方の紹介がありました。また、年齢にあった歯磨き粉を利用できるように、歯磨き粉のチューブに示されたフッ素の量などを提示しながら、具体的に説明されました。

歯磨き後のキシリトールの効用、フッ化物の塗布の必要性を話され、シュガーレスのあめやキシリトールガムの利用が良いそうです。1.5歳~2.5歳でむし歯菌が口の中に入ると、その後むし歯になるため、子どもが生まれたら、保護者は定期的に歯科医に受診し、継続して様子を見ていく必要があると話されました。

●栄養教諭 石神えみ 先生の講話



給食試食会では、1年生の保護者が、ランチルームでの配膳を見学し、自分の子どもと一緒に給食を試食しました。メニューはソフト麺、ツナトマトソース、ベイクドポテト、枝豆の塩茹で、牛乳です。食育講話では、給食の調理中における留意点や、マナーや地産地消、塩分濃度(上限2g、汁物は0.5~0.6%の薄味)などの説明がありました。また、野菜の摂取量は、岐阜県は現在30位であるが、全国1位を目指した取組をしていることなどを紹介し、家庭でも意識して1日350gを目標としてほしいと話されました。



<感想等>

・子どもが給食をどのように食べているのか分かり、家とは違う食べ方をしていたことを発見し、びっくりがありました。また、歯科医の先生より、歯磨き、糸ようじの必要性を教えてもらい、家で行っていなかったもので、これから家庭でも行っていきたいと思いました。

今年度は乳幼児学級への取材を行うという事で、講師もさせて頂きました。

岐阜清流文化プラザ子育て支援スペース みなたん講座

実施日: 7月16日(火) 10:30~11:30 講師: 家庭教育推進専門職 河野 和彦

《研修テーマ》: 「健やかな体と心の発達に大切なこと」~お子様への接し方・スキンシップあそび~

「みなたん」は0歳~2歳のお子さんとその保護者のための広場です。今回は12組が参加

◆活動内容

- 親子遊び わらべ歌・音楽にのせて
- お話
 - ・スキンシップ・アイコンタクト・表情豊かに言葉かけを大事に
 - ・母親・父親のスキンシップ効果の違い
 - ・心の発達について・スマホについて
- 小グループで交流
- 年齢に応じたスキンシップ等



<感想等>

・家事を優先しがちになり、子どもと接する事を優先することを忘れがちになっていたもので、子どもを愛していること、一番大切に思っている事を伝えられるように、自分に余裕をもって子どもと接したいと思いました。グループワークが良かったです。色々意見が聞けてうれしかった。

・スキンシップ遊びもあったし、ためになる話も聞けたしとても良かったです。家に帰ってから主人と体操したりしたいです。



羽島市立堀津小学校

手作りアクセサリー作り

(体験学習型)

開催日: 7月5日 (金)
講師: 木野 望 氏



●活動内容

午後授業参観、仕事を休むなら一緒に行おうとこの日に家庭教育学級を設定

- ・スカーフ止め
- ・ポニーフック
- ・ピアス
- ・イヤリング 等を作る。

最初、作り方を実演すると、集中して聞き、意欲の高さを感じました。



コメント

見本を見ると、きれいです。憧れができ、自分の身に付けるものです。きれいでありたいという欲求がそのまま表れています。この自分で決めるという事が子どもにとっても大事なことです。好きなものを自分で決め自分で作るという作業はとても楽しいことです。参加された皆さんの真剣な作業の姿、どんなに疲れても作り上げたいという姿から、この様子をお子さんにも見せてあげたいと感じました。仕上げられるようにサポートされた講師や担当の方にも拍手です。



手順は、

- ・見本を並べ、自分が作りたいものを決める。
- ・パーツを選ぶ。ここでかなりの時間がかかる。
- ・作業に入り、パーツをテグスで固定して作り上げる。作成中は無言であるが、グループごとに作り方を確認したり、聴きあったりする姿があった。細かいパーツの固定にはかなり手間取る。1つ1つのパーツを駒結びで止めながら進める。
- ・困っても、講師が助言、手助けをされている。やり直す人もいる。
- ・固定したパーツの隙間が気になる。角度が気になる。もっとつけようか、もうやめようか悩むことが多くありました。
- ・時間内にできなくても、講師が仕上げて頂けるという安心感がありました。

感想

- ・大変だった。でもできた。達成感がある。楽しかった。
- ・疲れた。アクセサリーの似合うような女性になりたいと思った。作ったことがなかったので、よい経験になった
- ・面白く、集中できた。午後の授業参観でつきたい。みんなでやるのは楽しい。作ったものは大切にしたい。

瑞穂市立本田第一保育所 親子体操教室

(行事参加型)

+体験学習型

開催日: 7月12日 (金)
講師: 藤原一也 氏



●講演内容: かずやんせんせいのうんどうあそび

○講師の親子体操は、親で行うスキンシップや体の運動感覚を高めるためのものが中心で好ましく、楽しくできていました。親子ともども楽しく参加し、家でもできる内容でした。

○最初は年少・未満児、その内容は

足の指を開いたり握ったりして動かす。手の指を合わせる。保護者の足の開閉に合わせてジャンプでまたく。保護者のつくったトンネルを跳んだらくぐる。足の上に足を載

せて歩く等親子で活動できます。最後の「人間橋渡し」は、子どもが親にしがみついて、楽しく力が付く体操でした。

○年長・年中児は

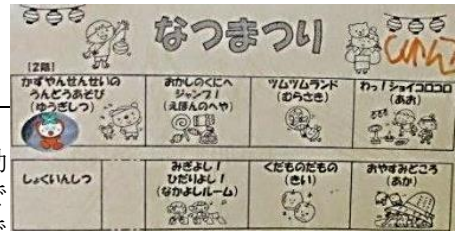
年少児の活動はレベルアップしたもので、早くやったり、トントンを早くしたり、回数を〇〇回行う・よじ登る・連続で行う等工夫されています。

動きは、つかむ・引っ張る・おす・踏ん張る・はさむを経験するとよいと話され、木登やジャングルジムが良いようです。



<感想等>

- ・親子でふれあえる事が出来てよかった。
- ・父: 普段ここまでやれていないので楽しかった。
- ・よい経験ができた。家でもできそう
- ・体の使い方が大変参考になった。子どもと触れ合うことがあまりなかったので、とてもよい機会になった。楽しかった。



コメント

本田第一保育所は今年から家庭教育学級を開催されました。委員長に何うと、事前アンケート、事後アンケートを準備し、人気の講師で始められました。

委員の主体性があり、楽しい活動になり、参加も非常に多く盛況でした。

保育所夏祭りは、園内でのいくつかのブースに分かれ、その運営は地域の方々に依頼して、コミュニティの活性化に貢献していると感じました。

好ましい家庭教育学級の運営と状況だと感じました。



ハンドスピナーを使った回転アニメーション&ミニサイエンスショー

開催日:7月21日(日)
講師: ガリレオクラブ
山本了司・山本みち子 氏



●科学工作の約束の確認

- ・ちゃんと話を聞く。
- ・机の上の整頓をする。
- ・ごみは指定の場所へ

○手順を丁寧に進めます。

- ・児童が必要なものをトレーにとり、円版を切り、裏に黒円を張り、スリットも切り取ります。スピナーを両面テープで磁石と合わせて円盤に貼り付け、回転することを確認します。棒に磁石を付けて、円盤の磁石と接触させ、配布された鏡の前で、円版を回し、スリットを通して



て見ると絵が動いて見えます。最後に、ほかの円盤を選び、シールや色を付けています。完成した作品を親子で覗く姿がとても楽しそうでした。

●科学工作の後のサイエンスショー

水中で人形が触れていない手の動きに合わせて浮き沈みする。てんとう虫が、棒の動きに合わせて不規則に動く。蝶の羽やブランコや人形が不規則に動くなどなぜ動くのかと不思議に思えるものばかりです。1つ1つの動きに子どもたちが興味津々でした。

<感想等>

- ・最初は乗り気でなかった娘が徐々に楽しんでいる様子が見られたこと、出来上がってうれしそうなお顔が心に残りました。怪我をしないようにカッターを使わなくてもできるようにしてあること、鏡にはフェルトを4隅に貼ってある等工夫して頂いており、安心して作業に取り組みました。
- ・鏡の中で絵が動いて子どもたちが喜んでいた姿が印象的でした。サイエンスショーも楽しかったです。

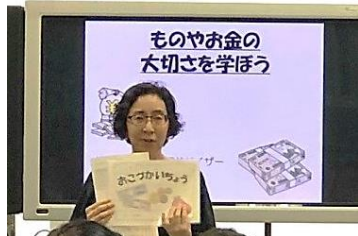
コメント

科学工作は手順が大事です。安全に楽しめるようにするには、材料の周到な準備、約束の提示の他、作業をしやすいするには、机の上を整理整頓が必要です。今回の工作では、講師の準備や指示がかなり慣れていると感じました。委員会の皆さんも助手に徹して、よく動かれていて、手際の良さが素晴らしいです。そのおかげで、全員作り上げ、楽しむ姿はモノづくりの方法としても大変参考になるものでした。



岐南町立西小学校 **ものやお金の大切さを学ぼう** (講演会型)

開催日:7月23日(火)
講師: 岐阜県金融広報アドバイザー
岐阜大学 教授 大藪千穂 氏



●講演内容

○児童へのお金にかかわるクイズ18問

- ・日本で使えるお金の種類は8種類?9種類?10種類?というように3択や2択で回答しやすく出題されました。
- ・紙幣や硬貨の話題からお金の役割についてのお話や働くことによって手に入れることができる?岐阜県では最低賃金時給825円であること、小学生1人1日約2400円が税金で賄われていることも話されました。

- ・LINEpayのようなキャッシュレス決済について良さや困る事を確認しました。
- ・小学生は働いて稼ぐことはできない。今みんなができることは何か?」の問いに、子どもたちから「お手伝い」と返事がありました。
- ・クイズや色塗り、親子で見合って記入でき、振り返りやまとめて計算することもできる「おこづかい帳」がプレゼントされました。今後、夏休みに実践していくことを確認しました。
- ・その後保護者に対して、「おこづかい帳」によって非認知スキルの忍耐力と自制心を付けることができるというお話がありました。



コメント



クイズによって、お金に興味を高めたり、時給や税金の話によって、学校で学べること、働く必要性も知り、夏休みの初めに学ぶことで、この休みに、お手伝いをしたり、お小遣い帳をつけて、実践を親子で話し合いながら確認できる機会となったようです。参加している子ども保護者も反応がよく、参加意欲が高いことに驚きました。

<感想等>

児童: ・お金の使い方を知って、ママやパパが一杯働いて、今ここにいることが分かりました。

- ・お金の重さやお金の大事さが分かりました。

保護者: ・親子でお金について考える良い機会になりました。子どもとお小遣い帳を書きながらいろいろ話ができたら良いと思います。

- ・おこづかいのはじめ方も考えさせられました。参考になる話が聞けてよかったです。
- ・とても面白くもっと聞きたいなと思いました。子ども用のクイズの部分も大人用のお話が為になりました。